



# 香南市役所 伝言板

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです

## 平 3月10日(土) 福祉事務所 ☎ 57-8509 平和への祈りを新たに

のいちふれあいセンターサンホールで戦没者追悼式を行いました。式には、戦没者遺族や関係者など約200人が出席。参列者全員で黙とうを捧げた後、仙頭義寛市長が「戦争の悲惨さと幾多の尊い犠牲があったことを次の世代に語り継ぎ、平和で安心して暮らせる元気なまちを築くことを誓う」と式辞を述べました。



参列者は、祭壇に白い菊の花を手向け、戦没者の冥福と恒久平和への祈りを新たにしました。

## 広 3月22日(木) 福祉事務所 ☎ 57-8509 広域福祉避難所の設置に向けた協定締結

南海地震や大規模災害の発生時に、一般の避難所では支援が難しい知的障害や発達障害のある人を広域で受け入れる、広域福祉避難所の設置に向けて協定を締結しました。協定書に調印したのは、香南市・南国市・香美市・大豊町の4市町と県知的障害者育成会(南国市)・愛育会(香美市)・来島会(愛媛県今治市)の3社会福祉法人。

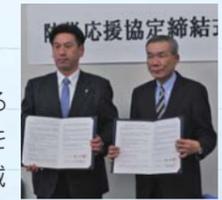


▲香南市を含む4市町と3社会福祉法人が協定書に調印

福祉避難所は、それぞれの社会福祉法人が運営する「かがみの育成園」「障害者施設白ゆり」「ワークセンター第2しらゆり」「ウィッシュかがみの」「南海学園」に設置されることになります。

## 女 3月22日(木) 防災対策課 ☎ 57-8501 女川町と防災応援協定を締結

災害が発生したとき、または発生する恐れがあるときに、お互いが応援活動を行い復旧・復興対策を円滑にすることを目的とした防災応援協定を宮城県女川町と結びました。



▲女川町・須田善明町長(左)と香南市・山本学副市長

宮城県女川町との関係は、2002年の「第57回国民体育大会(よさこい高知国体)」で、野市町と赤岡町がソフトボール競技を実施するにあたり、前年同競技を開催した女川町に視察に行ったことなどからです。昨年11月26日には、「香南市南海地震フォーラム」で東日本大震災での津波被害と復旧状況などについても報告していただきました。

また、被災地の復興と現場での経験を、これからの香南市の防災対策に活かすため、4月から来年の3月まで職員1名を女川町に派遣しています。

## 標高マップを作成

海からの高さが一目で分かるよう、5メートルごとに色分けした標高マップを作成しました。マップは、主な道路や公共施設、地名も記されているため、自分のいる場所の高度などが簡単に把握できます。本庁の防災対策課と各支所、市のホームページで閲覧できます。なお、マップの写しは、コピー代が必要となりますので、ご了承ください。

防災対策課 ☎ 57-8501



## 保育サービスへの ご意見・ご要望などについて

保育所では、副所長が受付窓口、所長が解決責任者として、保護者の方などからのご意見・ご要望・苦情などの担当をしております。また、場合によっては、助言や話し合いに立ち会う第三者委員もおりますので、お声がけください。

これからもより良い保育所運営を目指し、取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

- 第三者委員  
(任期:平成26年3月31日まで)
- 竹倉美智(野市) / ☎ 56-4141
- 山本美代(香我美) / ☎ 54-4611
- 中川弘枝(赤岡) / ☎ 55-3223



教育委員会こども課  
☎ 57-7522

## 地 50 高知駐屯地創立46周年・ 第50普通科連隊創隊6周年記念行事 地域に開かれた自衛隊



3月18日(日) 香我美町上分の陸上自衛隊高知駐屯地で、移駐後初めての創立記念行事が開催されました。あいにくの雨模様の中、隊員約300人が観閲行進や模擬戦闘訓練などを披露。また、この日は駐屯地が一般開放され、市内外から約2,500人が来場し、戦車・高機動車の乗車体験や展示された装備品に触れ、自衛隊に対する知識と理解を深めました。



▲観閲行進の様子。【右上写真】戦車の乗車体験。思ったより速い!?

## 桜 第4回きらら桜まつり 満開!笑顔満開!お腹は満腹!!

4月1日(日) 野市町大谷の桜の広場で、2年ぶりに「第4回きらら桜まつり」が開催されました。まちの笑かし隊「ちんどん」の陽気な音色とパフォーマンスに、会場は笑顔満開。約1,500人の来場者は、スタンプラリーに挑戦したり、シイラの天ぷらなどの香南のうまいものに舌鼓を打ったりと、桜の下で春のうらかな一日を満喫していました。



▲ミスマーメイドもはし拳に挑戦。さあ〜いらっやい!

## 釈 長谷寺で花祭り 迦像に甘茶注ぎ、無病息災を祈る

4月8日(日) 夜須町羽尾にある長谷寺で、お釈迦様の誕生を祝う伝統行事「花祭り」が開かれました。参拝者らは、花の飾り付けが行われた花御堂の小さなお釈迦様に甘茶を注ぎ、無病息災を祈っていました。また、4年前から花祭りの開催に合わせて行われているイベントでは、県内で活動している音楽家による歌やアンデス音楽の演奏、即興演奏と舞踏のパフォーマンスがありました。即興演奏と舞踏では、小林玄徹住職が太鼓演奏で参加する場面もあり、会場は和やかな雰囲気になっていました。



▶無病息災を祈り、手を合わす参拝者



▲観客もダンサーの声と動きに合わせて参加



▲同クラブのリーダー6人が表彰楯を授与。よく頑張りました。

## 消 赤岡町少年防災クラブ 防庁長官「優良な少年消防クラブ」表彰に輝く

4月11日(水) 赤岡小学校で伝達表彰式が行われました。赤岡町少年防災クラブは、赤岡小全児童(124人)がクラブ員。平成17年に発足後、積極的な火災予防活動や地震・津波避難訓練などの取り組みが評価され、受賞に至りました。「自分たちの地域は自分たちで守る」防災意識の向上と知識・技術を身に付けており、未来の防災リーダーとして頼もしい存在です。

